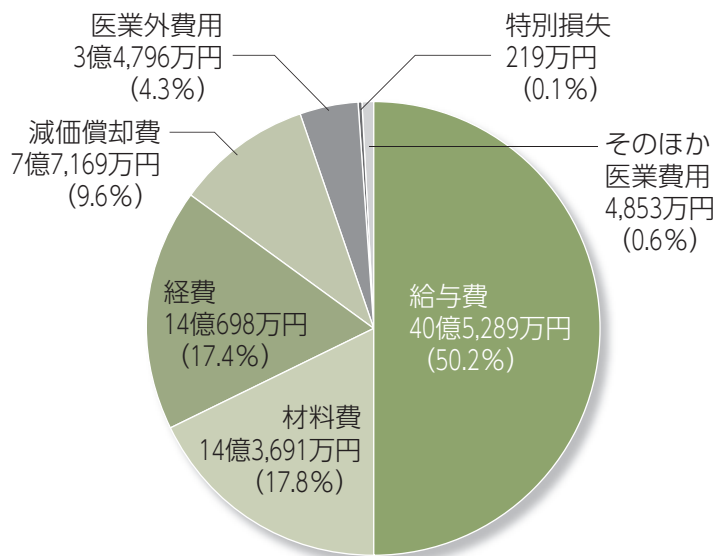


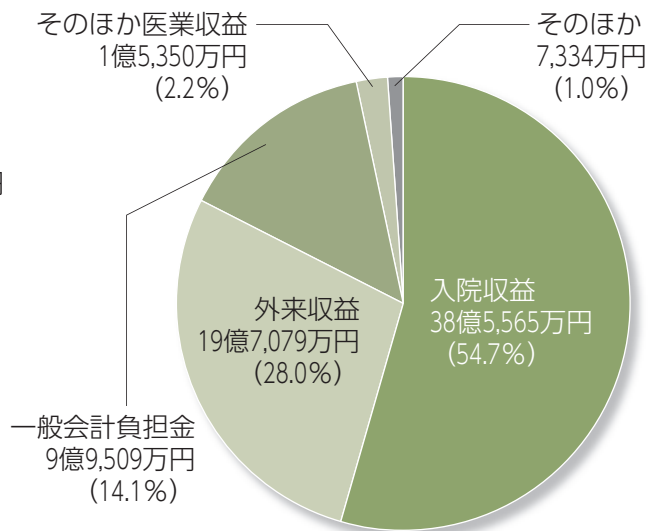
令和元年度 市民病院事業会計決算報告書

～温かな心のこもった医療を提供するために～

問 市民病院医事経営課企画推進係 ☎ (48) 5050



病院事業費用 80億6,715万円



病院事業収益 70億4,837万円

		令和元年度	平成30年度	増減
入院	延べ患者数	83,616人	84,128人	△512人
	1日平均患者数	228.5人	230.5人	△2.0人
	診療単価	46,831円	46,310円	521円
	病床利用率	66.5%	66.8%	△0.3ポイント
外来	延べ患者数	161,439人	165,655人	△4,216人
	1日平均患者数	667.1人	678.9人	△11.8人
	診療単価	12,594円	11,812円	782円
病院事業収益		70億4,837万円	69億1,27万円	1億4,710万円
病院事業費用		80億6,715万円	79億8,329万円	8,386万円
単年度純損益		△10億1,878万円	△10億8,202万円	6,324万円

※入院延べ患者数は、毎日24時時点の在院患者数に当日の退院患者数を加えたものでまた、外来延べ患者数は時間外患者数を含んだものです。

決算概要

令和元年度は、入院患者の居住環境および職員の労働環境の改善のため改修計画の策定に取り組みましたが、9月に厚生労働省から公表された「地域医療構想の実現に向けて」において再検証対象医療機関の指定を受けたため、病棟改修を一時中断しています。また、冬期に発生した新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、入院、外来患者数が大きく減少しており、令和2年度の病院事業に重大な影響を与えています。

医師の確保としまして、研修医については修学資金条例に基づき修学生を募集し、3人の医学生を確保しました。医師については、大学医局への働き掛けを積極的に実施し、令和元年度末現在の医師数は前年度末より1人増の42人となりました。

前年度と比較し、入院、外来患者数は減少しましたが、患者一人当たりの診療単価は増加したため、病院事業収益は1億4,710万円の増加となりました。結果として、令和元年度の純損失は10億1,878万円となり、前年度比で6,324万円、6%の改善となりました。